

にいがた新世代ヘルスケア情報基盤を活用した研究・事業

| | |
|---------------------------------|---|
| ①研究課題名 | にいがた新世代ヘルスケア情報基盤を活用した住民健康課題の地域別分析 |
| ②研究責任者 | 新潟大学大学院医歯保健学研究科 国際保健学分野 特任教授 菖蒲川 由郷 |
| ②対象者 | 新潟県と協定を締結した国民健康保険及び後期高齢者医療制度の被保険者のうち、新潟県内に住所を置く18歳以上の者 |
| ③概要 | 「にいがた新世代ヘルスケア情報基盤」(以下、「ヘルスケア情報基盤」とする。)に格納された県内の健診・レセプト等のデータを用いて地域別の住民健康状態を把握し、健康・医療・福祉に関わる地域課題の抽出および課題解決に向けた施策立案に資するデータの創出を行う。特に、検査値や罹患割合、ならびにそれらの経時的変化を地域間で比較することにより、地域特有の健康課題を明らかにする。あわせて、地域資源の活用も視野に入れながら、県民の健康寿命の延伸に向けた施策立案の可能性についても検討する。 |
| ④申請番号 | 25-004 |
| ⑤研究の目的・意義 | <p>ヘルスケア情報基盤に格納された県内の健診・レセプト等のデータを活用し、地域ごとの住民の健康状態を把握し、健康・医療・福祉に関する課題を抽出することを目的とする。これは、新潟県が掲げる、県民の健康づくりの推進、地域で安心して医療が受けられる体制の整備、住み慣れた地域で生活できる高齢者福祉の推進等、ヘルスケア情報基盤の事業目的とも密接に関連するものである。</p> <p>また、本研究は、ヘルスケア情報基盤を活用し、既存の大規模データを統計的に解析する研究デザインであり、大規模データを用いて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査値や罹患率など客観的データに基づく分析 ・地域間比較による課題抽出 ・長期的な変化を踏まえた施策立案の示唆 <p>を行うことで、県民の健康寿命延伸や地域包括ケアの推進に直接的な貢献が期待される。</p> |
| ⑥研究期間 | ヘルスケア情報基盤データ活用審査会承認後～2028年3月31日 |
| ⑦情報の利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。) | <p>地域別(二次医療圏別、市町村別等)に特有の健康課題を抽出することを目的に、以下の2点について解析を行う。</p> <p>(1) 地域別の住民健康状態の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単年度で、健診データから地域別の検査値異常発生割合を、レセプトデータから疾病の罹患割合を集計し、疾病発生状況を確認する。 ・複数年度にわたり、地域別の検査値異常発生割合および罹患割合を集計し、性・年齢等で調整のうえ統計的に有意な増加がみられる検査値・疾病を分析し、地域の健康課題と |

| | |
|-----------------|--|
| | <p>して抽出する。</p> <p>(2) 地域別の健康課題の要因分析</p> <p>①個人レベルの解析</p> <p>上記(1)の分析で有意な増加が確認された検査値・疾病と、健診問診項目における生活習慣等との関連について、性・年齢等で調整したうえで地域別に解析する。解析結果をもとに、地域における施策立案の可能性を検討する。</p> <p>②地域レベルの相関解析：</p> <p>検査値・疾病の出現率と、「統計でみる市区町村のすがた」で得られる市区町村の指標（人口・世帯、自然環境、経済基盤、行政基盤、教育、労働、文化・スポーツ、居住、健康・医療、福祉・社会保障、安全）との相関を検討し、介入可能な関連要因を明らかにする。</p> |
| ⑧利用または提供する情報の項目 | <p>ヘルスケア情報基盤に格納された下記データを用いて後ろ向きコホート研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本情報：性、年齢、地域（市町村等の地理情報） ・ 健診データ ・ 健診問診項目データ ・ 医療レセプトデータ ・ 介護レセプトデータ |
| ⑨利用の範囲 | 新潟大学大学院医歯保健学研究科 国際保健学分野 |
| ⑩お問い合わせ先 | <p>新潟大学大学院医歯保健学研究科 国際保健学分野</p> <p>特任教授 菖蒲川 由郷</p> <p>TEL：025-227-2131</p> <p>E-mail：yugo@med.niigata-u.ac.jp</p> |